

選挙公報掲載文原稿用紙

PROFILE

深澤陽一 ふかざわよういち
静岡市清水区興津生まれ (49歳)
清水市立興津小学校・中学校 卒業
静岡県立清水東高等学校 卒業
信州大学工学部 卒業
大学卒業後、衆議院議員の秘書を経て
2005年より静岡市議会議員(2期)
2011年より静岡県議会議員(3期)
2020年より衆議院議員(3期目)
2021年 厚生労働大臣政務官
2022年 自民党財務金融部会 副部会長
2023年 外務大臣政務官
2025年 自民党文部科学部会 部会長

妻と息子、娘の4人家族
身長 185cm 体重 81kg 血液型 B型
好きな食べ物はサラダ・野菜・アフライ・甘いもの

子供の頃からスポーツが好きで、
ソフトボール、卓球、バレー、硬式野球、ボブスレー、
スケルトン、サッカーとさまざまなスポーツを経験。
静岡市議会議員、静岡県議会議員を経験し、
2020年4月、望月義夫衆議院議員の遺志を継承し、
衆議院議員補欠選挙にて初当選。現在まで3期。
2023年から外務大臣政務官、
2025年からは自民党文部科学部会長として活動。
「まずは聞くことから」をモットーに、日本の未来、
ふるさとのまちづくりに取り組んでいます。

ふかざわ陽一 @fukazawayoichi fukazawa_yoichi HP / fukazawayoichi.jp

**責任ある積極財政で
強く豊かな日本を**
3年以上にわたって責任ある積極財政議連で政策実現に取り組んできました。コストパッシュ型インフレからデマンドプル型に移行するまでは国による財政出動が必要。経済成長こそ課題解決の道です。

物価高対策に奔走
ガソリン・軽油減税、電気・ガス料金への支援、地方交付金の増額、公的病院等への支援、米不足に対する備蓄米の活用等に取り組みましたが、現場での不足感に対し引き続き取り組みます。

**国土強靭化を
さらに加速**
これまで8年にわたって国土強靭化に取り組みましたが、能登半島地震等まだまだ対策が必要。今後5年で20兆円超の事業費で必要な対策を実施。地元では水門、防潮堤、治山治水等に取り組みます。

**教育・子育て支援の
転換点**
いわゆる高校無償化で予想される公立高校の定員減。少子化も踏まえた高校再編が避けられません。社会はDX、AI等理系の基礎知識が必然であり、文系理系を区別しない文理融合教育を目指します。

**外交・安全保障の
重要性が高まる**
 つくろう!みんなで
地元の声を力に変えて、
今こそ静岡から、
魅力ある強い日本を
つくっていく!

**富士川地区の
市民力をモデルに**
地域公共交通対策に独自の取り組みを実施。またマラソン大会のための施設整備や日常での活用の提案、スポーツツーリズムの誘致等、富士川地区の市民による事業化を後押しします。

**富士山を
世界のあこがれに**
もっと多くの方に富士宮からの富士山を愛でもらいたい。その為に東海自然歩道、棚田等の整備・活用、食を通じたPR、インフラ整備による渋滞緩和対策、民間投資による活性化に取り組みます。

清水港に新たな魅力
新興津地区を延伸した大型パルプ船への対応、人工海浜・小型船だまりの整備、江尻港周辺の再開発、日の出地区的観光化に加え、三保半島を国際海洋研究拠点として新たな魅力を生み出します。

強い経済！強い外交！安全保障！

実感に
豊かさを
成長と

成長は絶対成し遂げられる！
責任ある積極財政の考えのもと、
世界に頼られ憧れられる日本をもう一度取り戻す。
未来を担う皆さんに日本に大きな誇りを感じ、
社会を変える原動力となる成長をはぐくみ、
豊かさを実感できる日本に。



49才

ふかざわ
陽一

自民党公認